

世界にあふれることばが 信頼できなくなった

流されるまま生きる日々のなかで
忘れてしまっていた自分や世界の「声」と「音」
こころの奥深くに沈みこんで消えようとしていた「ことば」の数々
暗がりですっと灯火をさがすように
忘れていた「声」や「ことば」をとりもどすために書かれた散文詩集



装幀意匠

星空を感じさせる表紙にサンセット
オレンジに煌めくタイトルの箔押しが特徴。
灰色の用紙「タブロ」に紺色の文字色で
本文を印刷しています。
本そのものが「詩」であることをめざしました。

白居弘佳（しらい・ひろか）

1963年愛媛県生まれ。京都女子大学文学部英文学科卒。
定型の言葉ばかりのやりとりから自分のことばをとりも
どそうと、一度は書くことをあきらめていた詩を再度書
きはじめる。本書が初詩集。共訳書に『死にゆく人と共
にあること』（2015 春秋社）。

光 の テ ン ト

白居弘佳 著

2026年8月3日刊行 本体1800+税 114頁 B6判上製 注文数 冊

星を聴く

病みおとろえた世界のなかで
なにをどうしていいか
うずくまる

どの方角をめざせばいいか
電磁波におおわれた街では
もうアナログな羅針盤は使えない
どの声や文字を信じればいいのか

ことばが商品になり

ラッピングされて

ほんとうのことがわからない

そんなときは

ひとりでだまって

じっと夜の空を見つめよう

ポラリスは

こぐまのなかで

いっとう光って

こころの錨となってくれる

その光が語りかける声に

じっと耳をかたむけよう

その声なら

信用してもいいんじゃないか

・貴店名（宛名）

・ご住所（送付先） 〒

・電話番号

・メールアドレス

灯光舎

京都市北区紫竹下芝本町7-7

TEL:075-366-3872

FAX:075-366-3873

mail: info@tokosha-publishing.com